



発表のポイント





発表ポイント1

子どもたちの様子や 目的にあわせて 発表の方法を決める

発表する方法は色々あります。
適切な発表方法を選びましょう。



みんなの前で発表

みんなの前でひとりずつ発表する方法です。

人数が多い場合は、見やすいように大画面に表示するのがおすすめです。

大人数の前で話す経験を持たせたいときは、この方法を試してみましょう。

発表する人数分の時間を確保しましょう。

- ・動画作成がはやく終わり、発表タイムまでの間に時間を持て余している子がいたら、発表の練習をするよう勧めてみましょう
- ・PCやプロジェクター等の準備は前もって行いましょう



グループ内で発表

少人数のグループを作り、その中でひとりずつ発表する方法です。

スクリーンなどには映さず、タブレットの画面を見せて発表します。

意見交換の時間を多く取りたいときは、この方法を試してみましょう。

- 作成作業が早く終わってしまった子たちを集めて行うのもおすすめです
- 時間があればグループのメンバーを変えてみましょう
- タブレットの画面は比較的小さいので、3～5人のグループで行うのがおすすめです



ふたりペアで発表

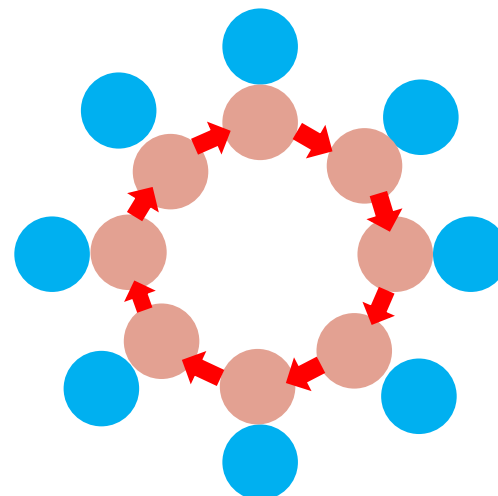
ふたりペアになって、お互いの作品を見せ合う方法です。

みんなの前での発表を嫌がる子どもが多いときや、
大人数の前で発表する前に自信をつけさせたいときは、この方法を試してみましょう。

- 二重の輪をみんなで作り、回りながら見せ合いをする方法もおすすめです。
- 「みんなの前で発表」や「グループ内で発表」の練習として利用する方法もあります。



二重の輪を作って発表・・・



● の人は動かない

● の人は発表が終わるごとにひとりずつずれていく

もちろんその他の方法でもOKです！

状況を見て判断しましょう。





発表ポイント2

発表があることを 事前に伝えておく

おしらせ

子どもたちに事前に知らせておくと
どんなメリットが生まれるでしょうか？



「みんなに見てもらう」 という意識で作成する

たとえば・・・

発表することを
知らないまま制作



どうせ誰にもみせないし
適当でいいや～

動画完成後に
発表することを知る



大変だ！
みんなに見せられるような
動画じゃないよ…

満足できる発表が
できずに終わってしまう



きちんと作っておけば
よかった…

発表があることを事前に伝えておくことは、「てめき制作」の抑止力になります。
自信をもって発表できるよう、作品の制作段階から
「みんなに見てもらうんだ！」という意識を持たせてあげるといいでしょう。

発表に不安を持っている子ども 心の準備ができる

たとえば・・・

発表することを
知らされたとき



発表苦手なんだよなあ・・・



不安点を
解消する時間がとれる



もう一度、ポイントを
おさらいしておこう



自信をもって
発表することができる



練習もたくさんしたし、
きっと大丈夫！

発表があることを事前に伝えておくことで、
発表に不安を持っている子が
発表のポイントを復習したり、練習したりする時間を作ることができます。



発表ポイント3

質問する

質問をすることで、
新しいアイデアや工夫を学ぶきっかけの参考となります。



質問例

作成

- ・いちばん考えたところ（工夫したところ）は？
- ・頑張ったところは？
- ・時間がかかったところは？

アイデア

- ・どのワークシートを使った？
- ・どうやって思いついた？

今後

- ・だれに見てほしい？
- ・次はどんな動画を作りたい？

子どもたちから質問がでなければ
こちらから質問を投げかけ、
作品を見ただけではわからない
意図や思いを引き出しましょう





発表ポイント4

みんなで感想をいいあう

作品の良い点をみんなで褒め合い、自信をつけましょう。



かんそうカードを使ってみましょう

感想交換のおたすけグッズとして、

「かんそうカード」があります。

「かんそうカード」を書くことによって

より集中して作品を鑑賞する



という効果が期待できます。

また、カードを受け取ることにより

次回作への意欲が高まったり、

形として残るため

簡単に振り返ったりすることができます。

かんそうカード 	<div>さんへ</div> <hr/> <hr/> <div>より</div>
かんそうカード 	<div>さんへ</div> <hr/> <hr/> <div>より</div>
かんそうカード 	<div>さんへ</div> <hr/> <hr/> <div>より</div>



「相手に伝わる発表」
ワークシート『発表について考えよう』
にあります。

かんそうカードの使用例

・渡したいと思った人に渡す

子どもが自分自身で、いいなと思った作品に感想をかきます。

ワークシートをコピーすることで
かんそうカードを
増やす方法もあります！

・4人グループを作り、自分以外の3人に渡す

全員のもらうカードの数が**平等**になります。



・あらかじめ渡す人を指定する

すべて指定する必要はありません。全員が、**必ず1枚**はカードをもらいます。

(例)「1枚は、右隣の人をかきましょう」

— **どんな感想をかいたらいいかわからない…そんなときは！？** —

ほめことば50音（次ページ参照）を参考に、作品にぴったりの言葉を探してみましょう。

ほめことば50音には2種類（漢字表記とひらがな表記）あります。

ほめことば50音

あ 明るい、温かい、新しい、アイデアがいい
 い いいね、癒される
 う うまい、美しい、うらやましい
 え えらい、笑顔になる
 お おもしろい、おしゃれ、オリジナル

か 感動、完璧、かわいい、カッコいい
 き 器用、きれい、貴重
 く グッド、工夫がわかる
 け 計画的、元気、芸術的
 こ 声がいい、根性がある、個性がある

さ さすが、最高、さわやか
 し 上手、幸せになる
 す すごい、すばらしい、素敵
 せ 世界一、センスがいい
 そ 想像力がある

た たくましい、楽しそう、頼りになる
 ち 知的、チャレンジャー
 つ 伝え上手、強い
 て 天才、伝説、手際がいい
 と 得意、飛びぬけている、努力家

な なるほど、ナイス
 に 日本一、人気がある
 ぬ ぬくもり
 ね 熱中、粘り強い
 の のびのびしてる、のどか

は パーフェクト、ばっちり、抜群
 ひ 百点、表情豊か
 ふ ファンになる、雰囲気がい
 へ 変化がある
 ほ ほんわか、本当に〇〇、ポジティブ

ま まじめ、前向き、まるで〇〇
 み 見事、ミラクル、魅力的
 む 夢中になる、無駄がない
 め 名人、目立つ
 も 文句なし、物知り

や やる気がある、やったね、優しい
 ゆ 夢がある、有名、愉快、豊か
 よ よい、よく〇〇

ら ラッキー、ラフ
 り 立派、律儀、利口
 る ルンルンする
 れ レベルが高い、礼儀正しい、歴史に残る
 ろ ロマンがある、ロック

わ わかりやすい、ワクワクする

ほめことば50おん

あ あかるい、あたたかい、あたらしい、アイデアがいい
い いいね、いやされる
う うまい、うつくしい、うらやましい
え えらい、えがおになる
お おもしろい、おしゃれ、オリジナル

か かんどう、かんぺき、かわいい、かっこいい
き きよう、きれい、きちょう
く グッド、くふうがわかる
け けいかくてき、げんき、げいじゅつてき
こ こえがいい、こんじょうがある、こせいがある

さ さすが、さいこう、さわやか
し じょうず、しあわせになる
す すごい、すばらしい、すてき
せ せかいいち、センスがいい
そ そうぞうりよくがある

た たくましい、たのしそう、たよりになる
ち ちてき、チャレンジャー
つ つたえじょうず、つよい
て てんさい、でんせつ、てぎわがいい
と とくい、とびぬけている、どりよくか

な なるほど、ナイス
に にほんいち、にんきがある
ぬ ぬくもり
ね ねっちゅう、ねばりづよい
の のびのびしてる、のどか

は パーフェクト、ばっちり、ばつぐん
ひ ひゃくてん、ひょうじょうゆたか
ふ ファンになる、ふんいきがよい
へ へんかがある
ほ ほんわか、ほんとうに〇〇、ポジティブ

ま まじめ、まえむき、まるで〇〇
み みごと、ミラクル、みりよくてき
む むちゅうになる、むだがない
め めいじん、めだつ
も もんくなし、ものしり

や やるきがある、やったね、やさしい
ゆ ゆめがある、ゆうめい、ゆかい、ゆたか
よ よい、よく〇〇

ら ラッキー、ラフ
り りっぱ、りちぎ、りこう
る ルンルンする
れ レベルがたかい、れいぎただしい、れきしにのこる
ろ ロマンがある、ロック

わ わかりやすい、ワクワクする



発表ポイント5

なぜ発表は大切なの？

発表することの大切さについて理解しておきましょう。



伝え上手になるために

学校、会社、家庭、習い事など、様々な環境でコミュニケーションをとることは必要です。

なにかを人に伝えるときに、うまく言葉にすることができなかったり、

話の順番が分かりづらかったりすると、相手に誤解を与えてしまうかもしれません。

また、発表会やプレゼンなど、自分をアピールすることが必要な場面に遭遇したとき、

できる限りの力を発揮するためには、経験と自信があると良いかもしれません。

発表は…

- ・伝えたいことはなにか、考えをまとめる
- ・伝えたいことをどのような言葉で表現するか、考えを深める
- ・伝えたいことが複数あるとき、どのような順番で伝えるかを整理する
- ・人前で話す良い機会になる
- ・成功したら人前で話すことに自信がつく

おわり

